

## 拡大基調対応へ“処方箋”発信

日本コンストラクション・マネジメント協会（CM協会、川原秀仁会長）は9月29日、第100回「CMAJフォーラム」をオンライン形式で開いた。東京都港区の協会事務局から、川原会長が「あなたが感じている建設産業の変化は今後さらに加速する！あなたならどう行動しますか？—CMは止められない潮流になる—」をテーマに講演し、適用件数が拡大基調のCMに的確に対応するための“処方箋”を発信した。

冒頭、川原会長は「100回

CM協会が第100回フォーラム

目の節目に講演することができ、光栄に思っている。大都市圏、中核都市の民間プロジェクトではCMが当たり前になっている。この講演が、大きく動いているCMへの参画を検討するきっかけになればと思っている」とあいさつした。

フォーラムは定員いっぱいの180人が視聴し、CMへの関心の高さをうかがわせた。

講演では、▷CM浸透の現状把握▷あなたが感じる社会の変化▷建設産業の変化は、まずサプライチェーンから▷

ビジネス自体の変化がもたらす建設産業への影響▷CMにチャレンジするならいまいかない——をテーマに普及状況や導入効果などを説明した。

川原会長は、CMが「プロジェクトの合理性、妥当性、プロセスの透明性確保に重要な役割を果たしている」とした上で、「これからはプロジェクトを推進し、ハンドリングする存在になる」との見解を示した。

プロジェクトを成功に導くためには、発注、設計、施工という通常のコストラクションサプライチェーンではなく、構造や流通などの要素を掛け合わせた、「価値を伴う



オンラインで講演する  
川原会長

バリューチェーン」の構築が必要と強調した。

講演後の質疑応答ではCMのさらなる普及促進に向け、「国土交通省だけでなく総務省などの関係省庁にもPRしていく。新設が見込まれているデジタル庁に対しても積極的に声掛けしていきたい」と意欲をみせた。

